

I 前年度の各種調査から見られる学校の状況

※釧路市では、小3～6、中2を対象に標準学力検査を実施していますが、本校では、独自に小1～6、中1～2において実施しています。

① 各学年の標準学力検査の状況

【小学校 国語】

- 全学年において、漢字の読む・書く、中学年：言葉の学習、高学年：インタビューの内容の聞き取りで目標値や全国平均を超える、もしくは近い数値であった。
- 全学年で物語や説明文を読み取ること。文章を書くことに課題が見られた。

【小学校 算数】

- 経年変化からも全体的に少しずつ力をつけてきている。特に、低学年：数の表し方・たし算ひき算、中学年：億と兆・がい数の表し方と計算の決まり・割合・分数・体積、高学年：文字と式・拡大図と縮図において、目標値や全国平均を超える、もしくは近い数値であった。
- 低学年：長さやかさ・時こくと時間・文章問題、中学年：四角形の角の大きさ、単位量あたりの大きさ・比例、高学年：分数のわり算・かけ算、比と比の値において課題があった。

【中学1年生】

- ・国語 ○説明的な文章の読み取りや調べたことをもとにレポートを書く問題では、目標値や全国平均を超える、もしくは近い数値であった。
- 文法や語句に関する問題や文章を書く問題において、課題があった。
- ・数学 ○一次方程式、平面図形に関する問題では、目標値や全国平均を超える、もしくは近い数値であった。
- 文字式では、若干の課題が見られる。

【中学2年生】

- ・国語、数学ともにすべての領域において、目標値や全国平均正答率を大きく上回っている。

② 学校の状況

【小学校】

- 授業では、きちんとノートをとっており、授業は分かっている児童が多く、さらに自分の力をできるかぎり伸ばしたいと思っている児童が多い。
- 家の人と決めた約束や決まりを守れないことがあるようである。また、新聞を読まなかったり、国語や算数の授業のために予習も不足しているようである。

【中学校】

- 朝食をしっかりと、学校の中でも家庭の中でも挨拶をしっかりとできることや学校の準備は自分で用意し、きまりを守りながら学校生活を送っていることから、規範意識が高く、生活習慣が身につけていることがわかる。
- 勉強の図書館や辞書（電子辞書をふくむ）を利用することがあまりなかったり、新聞の記事を読んだり、テレビのニュースを見る機会はあまりない生徒も多い。また、コロナ禍だったこともあり、地域の行事に参加した経験も少ない。

II 今年度の学力向上に係る重点取組

① 学校全体での取組

授業づくり	学習集団づくり	学習習慣・環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中連携した校内研修を充実させ、一斉指導と適切な個別指導を見通した授業を推進する。</li> <li>○個に応じた指導を進めつつ、協働的な学びを意図した授業展開を構築する。また、発表する場面を多く取り入れる。</li> <li>○発表資料や調べ学習のまとめなどで、本やタブレットを活用する機会を増やし、児童生徒に選択させていく。</li> <li>○基礎基本の定着のための復習や、発展的な学習の1つとしてタブレットドリルを活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校・中学校ともに、学校図書や図書館バス、読書活動サポートセットを活用し、朝読書の継続に取り組むことで、本に親しむ習慣をつけることを継続する。</li> <li>○対話的な活動を充実させるために、授業や児童生徒会活動など様々な場面でICTを活用し、学年の枠を超えた活動を積極的に取り入れていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭学習シートや提出を毎日確認し、教員からのアドバイス等を繰り返すことで、意欲の持続と習慣づけに継続的に取り組む。</li> <li>○「家庭学習の手引き」「山花小中学校学習習慣表」を元に、各家庭と連絡を密にとり、家庭学習の定着と内容の向上をはかる。</li> <li>○メディアに関する講座を児童生徒が保護者と共に受け、各家庭において約束事を守るよう引き続き理解を求める。</li> <li>○小学校中学校ともに、中学校のテスト前に「Noゲームデー」等、集中して家庭学習に取り組めるよう、メディアに触れる時間を制限する期間を設定する。</li> </ul>

② 各学年の指導の重点

小学1年生の重点	小学2年生の重点
<p>(欠学年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎一斉授業による授業規律の徹底と個に応じた指導を使い分け、基礎基本の定着を図る。</li> <li>◎児童の実態に合わせた課題、問題、発問について精選する。</li> </ul>

<p style="text-align: center;"><b>小学3年生の重点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 一斉授業による授業規律の徹底と個に応じた指導を使い分け、基礎基本の定着を図る。</li> <li>◎ 学びに向かう姿勢の向上のために、家庭学習に力を入れ、必要に応じて家庭での協力をお願いする。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>小学4年生の重点</b></p> <p style="text-align: center;">(欠学年)</p>
<p style="text-align: center;"><b>小学5年生の重点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 継続して日記を書く取り組みをしているが、児童の書く力がより一層向上していくよう、工夫改善に努めていく。</li> <li>◎ 繰り返し自分の考えを発表する場を設定することを通し、他者へ説明する表現力の向上に努める。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>小学6年生の重点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 学習リーダー制を更に積極的に実施し、間接指導時の自分たちで学習する習慣化を図り、主体的に学ぶ意欲を向上させる。</li> <li>◎ 題意を読み取る力や説明する力の向上のため、朝読書などの読む活動を多く取り入れ、また、他者へ説明する機会を増やす。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>中学1年生の重点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ タブレットの活用も含め、定期的を書く活動を続け、思考・判断したことを表現できるよう努める。</li> <li>◎ 放課後学習や家庭学習で苦手な内容を繰り返し学習させることで、基礎学力の向上を目指す。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>中学2年生の重点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 全ての教科において、タブレットの活用も含め、定期的を書く活動を続け、思考・判断したことを表現でできるよう努める。</li> <li>◎ 基礎・基本の定着や読み解く力が身につくよう、必要に応じた全体指導と個別指導を使い分けると共に、家庭学習の質の向上を図る。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>中学3年生の重点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 各教科において、基礎基本が定着しているため、学んだ知識を活用する活動を積極的に取り入れる。</li> <li>◎ 異学年との交流の中で、適切に自分の思いや考えを伝えることができるような支援をしていく。</li> </ul>	